



# こたけ

# 議会だより

第 196 号

平成24年 5月1日

■発行 小竹町議会  
 福岡県鞍手郡小竹町  
 TEL 09496-2-1967  
 FAX 09496-2-1140  
 ■編集 議会広報編集委員会  
 ■印刷 マツオ印刷株式会社



## 入学おめでとう

### 西小学校 新1年生



4月11日

## 入学式



### もくじ

- ◆ 平成24年度当初予算 ..... 2
- ◆ 平成23年度補正予算 ..... 4
- ◆ 主な議案 ..... 4
- ◆ 一般質問 ..... 5
- ◆ 陳情・意見書 ..... 8

3月定例会

(平成24年3月8日～3月23日 16日間)

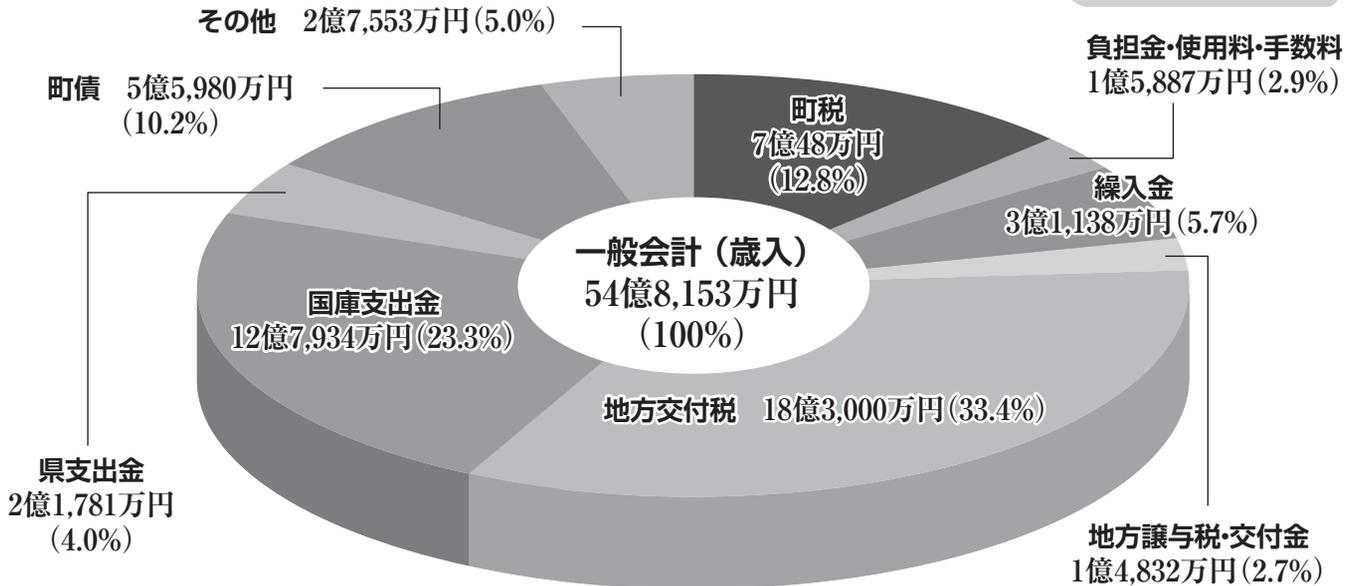


# 平成24年度当初予算

一般会計 …… 54億8,153万円  
 特別会計 …… 26億 414万円  
 総 額 …… 80億8,567万円

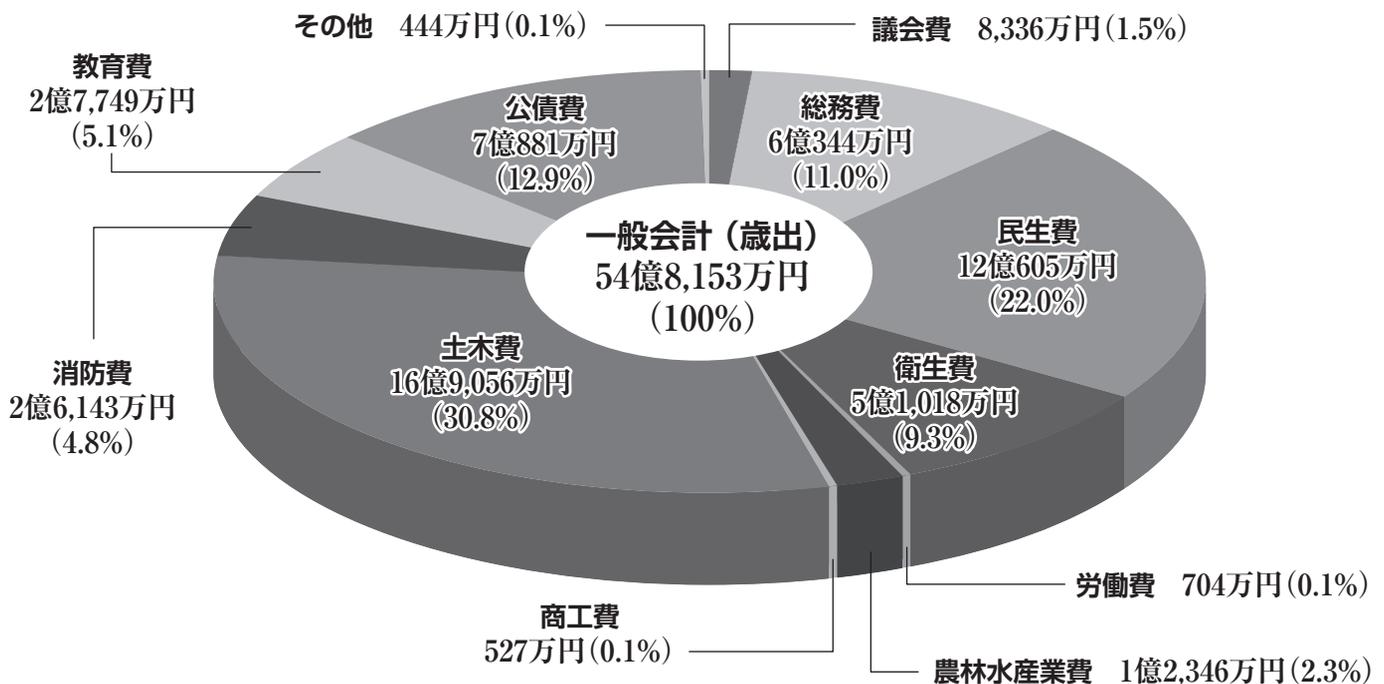


## 歳入



地方交付税……町が一定水準の事業を行えるよう、  
 財政力に応じて国から配分されるお金  
 町債………町の借金

## 歳出



公債費………町の借金返済金

一般会計予算  
前年度比24.9%増

特別会計予算  
前年度比0.5%増

依然として、厳しい財政運営が予想されますが、住民の福祉や健康、安全の保持、行政サービスの低下を招かぬよう、議会での厳しいエツクを行ってまいります。

### 当初予算の主な内容

- 地域協働推進事業
- 障がい児通所支援事業
- 水田農業担い手機械導入支援事業
- 兵丹・宮田線道路新設事業
- 中島・芦北幹線道路改良事業
- 蛇牟田川改修事業
- 消防格納庫建築事業
- 消防自動車購入事業
- 南小学校公共汚水管布設事業

### 予算委員会の主な質疑

**問** 庄内川改修事業で、用地費と工事負担金額の算出根拠は。

**答** 庄内川の築堤工事に連動した内水排除の負担金で、60cmの断面のU字溝をサイホン式に整備するための用地費です。

**問** 兵丹・宮田線道路新設事業に、本町が事業費の一部を負担する根拠と、今後の維持管理は。

**答** 宮若市との協議の中で、小竹町域部分の事業費は本町が負担し、維持管理は宮若市が行うこととしています。

**問** 昨年の税制改正で年少扶養控除が廃止になった。どの程度増収になるのか。また、年少扶養控除の廃止に伴い、保育料などの値上げがあるのか。

**答** 平成23年度の課税状況では、増収分約1000万円です。その他個人所得の減少により差引き約560万円の増収となります。

保育料については、年少扶養控除したとして算定しますので、値上げにはなりません。

**問** 町営住宅解体工事費で、350万円が計上されている。この何棟分の経費なのか。

**答** 御徳と七福の町営住宅併せて5戸の解体工事を予定しています。

**問** 町営住宅管理費の支出が家賃収入の27%しかない。地域防災を進めながら団地の耐震診断の予算もないのか。

**答** 財政状況が厳しく、平成24年度予算には反映できていません。長寿命化計画の中で検討します。

**問** 住宅新築資金等貸付の中で、悪質な滞納も含めて7700万円の滞納がある。この問題をどうするのか。

**答** 滞納対策については、今後も催促や分納相談等を行い、今まで以上に収納率向上に努めます。

**問** 少ない住宅管理費の中から、毎年、住宅新築資金等に繰出しをしている。これは滞納の穴埋めなのか。

**答** 住宅新築資金等への繰出金は、昨年が約228万円、本年度は約296万円を計上しています。

**問** 学童保育の時間延長の要望に対応する考えはないのか。

**答** 保育時間の延長については、指導員等の配置もありますので、今後の検討課題であると思います。

**問** 福祉タクシー料金助成事業に、高齢者を対象にしたタクシー券の考えはないのか。

**答** 対象者の拡大や枚数の増は、今後検討させていただきたいと思います。

**問** 子育て支援係を設置すべきでは。

**答** 福祉課と社会福祉協議会で連携をとりながら、児童館を子育て支援の中核施設に持つていくように考えています。

**問** 小中学校における冷暖房対策は。

**答** 児童・生徒たちの状況を十分勘案して、財政当局とも相談しながら予算要求をしていきたいと考えています。

**問** 備品購入費で町の消防車の購入費と、一部事務組合の消防車の購入費が倍以上違う。この違いは何なのか。

**答** 車両の大きさの違いと積載できる水の量が900ℓと3000ℓとなっています。



▲昨年度配置された消防ポンプ車

**問** 当初予算の総額が約55億円と大きなものになっているが、予算編成が苦しい状況にあるのではないかと。

**答** 予算総額に対する町税が12.8%で、非常に厳しい状況です。公債費の償還が7億円程度あります。あと3、4年で5億円程度に減ってくる予算編成がしやすくなります。

# 3月定例会の主な議案

3月定例会は、3月8日から3月23日まで、会期16日間の日程で開かれました。  
条例案・予算案等の議案が提出され、審議の結果、議会は賛成多数で可決しました。

**行政区の設置及び  
住民自治組織に関する  
条例を制定**

現在の行政区を明確にし、  
町民の皆さんに行政区への加  
入を促進することにより、自  
治会組織の充実、活性化を図  
るための条例が制定されまし  
た。

**下水道条例を制定**

本年度に供用開始予定の公  
共下水道の使用料などの算定  
方法及びその管理に関する条  
例が制定されました。

使用料は、水道の使用水量  
1㎡あたり190円です。

**都市計画下水道事業  
受益者負担に関する  
条例を制定**

公共下水道が利用できる区  
域の方に、下水道建設費の一  
部を負担していただくため、  
受益者負担金についての条例  
が制定されました。

負担金は、土地1㎡あたり  
150円です。

**町長の施政所信表明  
に対する質疑**

**問** 町商工会主催のふれあい  
商品券の事業は、一般券と住  
宅リフォーム券が、当初予算  
の中にながどうしてか。

**答** 要望が多いので、県の補  
助金の動向も見ながら、平成  
24年度も実施したいと考えて  
います。

**問** 町民のための自治基本条  
例の制定に向けて住民参加型  
の検討委員会を立ち上げるべ  
きだと思つた。

**答** まず自治基本条例をつく  
るのが通例ですが、本町は、  
住民、行政等全員の意見を集  
約し、住民参加の中で検討会  
を発足させます。

**問** 定住を促進するための子  
育て奨励金など、具体的な施  
策を決定すべきではないか。

**答** 当面、企業誘致の中で、  
奨励金制度や固定資産の減免  
を行つていきます。子育てを  
支援する独自の手当等は今後  
の課題です。

**問** 防災上の具体化された予  
算が少ないのではないかと。

**答** 全町的な防災組織、地域  
の防災計画をつくる過程で、  
必要があれば予算計上してい  
きます。

**問** 3・11大震災のがれきの受  
け入れ態勢をどうするのか。

**答** 大牟田リサイクル発電所  
の見解、がれきの内容等を調  
査し、実態を把握する必要が  
あります。

住民の健康を害さないとい  
う確証を得て、判断したいと  
思います。

**問** JR宮田線代替輸送道路  
の整備について、地元の協議  
はすべて整っているのか。

平成24年度にすべての工事  
が完了するのか。

**答** 地元の協議は整っている  
と認識しています。  
平成24年度に着工、竣工と  
いう計画で進めていきます。

**問** 町営住宅の長寿命化計画  
と予算の整合性がありません。  
**答** 計画の中で耐用年数を超  
えた住宅についての建替えや  
修繕・改修を行います。

**問** 大牟田リサイクル発電所  
のRDFの処理単価の引き上  
げに対して、宮若市外二町じ  
ん介処理施設組合の組合長と  
して、今後の経営努力目標は。

**答** 施設組合の合理化を図つ  
て各市町の負担金を上げない  
ように努力します。

**問** 町立病院の無料定額診療  
を行わないのか。

**答** 実施する場合は、福祉施  
策の中で考えています。

今後は、新しい院長ととも  
に、病院改革を含め、検討して  
いきたいと思つています。

## 平成23年度補正予算

一般会計 ...△4,534万円

特別会計 ... 4,183万円

総 額 ... △351万円



# そこが知りたい 一般質問



## ○南良津川流域の 水害対策は

吉野 欽也 議員

昨年、我が国では、東日本大震災と原発事故、台風接近による近畿地方等の大水害など、未曾有の大災害をもたらし、改めて、災害に対し普段からの準備の必要性を再認識させられた年でありました。

昔から、南良津地区は、水害常襲地として、一、野面、二、新延、三、南良津といわれ、また、降っても南良津、照つても南良津ともいわれ、水害には特に敏感な地域です。

① 樋門の設置について  
水害時には、宮若市の舞鶴川と迎野川の二つの河川から今橋水路にバイパスが設置され、排水するシステムとなっています。旧国鉄の宮田線などを活用し、今橋水路からの水を調整するため、樋門を設置するべきではないか。

② 止水板の設置について  
南良津川の水位が上昇すると、左岸集落側に逆流し、生活道路が冠水するため、排水口に止水板を設置し、ポンプアップによる内水排除をするべきでは。

③ 町道等の嵩上げについて  
勝野・南良津幹線の林医院からライスカンターの間と、高棚1号線は、道路高が不足していることは明らかであり、少しの雨でも冠水するため、嵩上げなど道路改良を施工せよ。

南良津川流域の水害対策については、南良津区から町へ要望書を提出しており、また、国土交通省、宮若市、小竹町、南良津区と現地調査も実施しているので、その点を踏まえ、前進した答弁をください。

松尾町長

① 南良津地区の水害対策として、今橋水路からの流入抑制を求める陳情を受け、現在、遠賀川河川事務所で水利解析等を行っています。

解析結果を受けて、宮若市・県・国と協議を行い、役割分担し、水害対策を進めていきます。

② 遠賀川水位の上昇により南良津川最下流の樋門が閉鎖されると南良津川の水位も上昇します。

この対策として、排水溝への止水を目的とする止水板の設置は可能です。

止水板設置による内水排除のためのポンプ設置を含めた排水路改修は、現在役場裏の蛇牟田川排水機場が平成26年3月に完成することにより、下流の南良津川の水位低下等の事業効果に期待しているところです。その結果をみながら再度検討します。

③ 南良津・勝野幹線の道路の嵩上げは、道路沿いの工場団地との敷地高との関係、また、高棚1号線についても農家の方と十分協議をし、道路の排水機能の拡大について、今後検討していきます。

## ○小学校の統廃合等を



峯岡 均 議員

小学校は、子供たちの学びの場としてだけでなく、地域コミュニティをつくる核としての役割を担っています。

校舎は、災害時の避難場所や自治活動の拠点としての役割を持っています。

しかし、本町では、少子化や過疎化の進展に伴う児童数の激減により、小学校の小規模化が進行し、学校の活力や教育効果などの面で様々な課題が生じており、学校をとりまく環境の変化への対応が強く求められています。

小学校の統廃合は、教育条件の整備や地域コミュニティの再編の問題のほか、教育財政上の問題など様々な要因があります。

いつかは決断しなければならぬ重要な政策課題であり、小学校の適正規模の考え方や将来構想について、設置者である町長に腹藏のない答弁をお願いします。

小学校の小規模化が進行すると、学校行事において様々な課題が出てきます。特に、運動会では、児童の役割等が多くなり、負担が過重になりがちで、円滑な運営が困難になります。

町内三つの小学校が合同して、陸上運動等で競い合う中で、親睦を図りつつ、切磋琢磨することを目的として、合同運動会を開催する考えはなにか、教育長にお伺いします。

そもそも、大局的な判断を示さなければならぬ時期が間近に来ていると思いませんか。

**松尾町長** 昨年12月定例会の教育長の答弁のとおり、学校の統廃合については、複式学級が発生する見込みが生じた時点で大きな決断をしなければ

ばならないと考えます。

今後は、出生率の低下や企業誘致による定住化の状況、校区単位における地域コミュニティの動向などを見定めながら、統廃合が教育環境に与える変化や効果について熟慮してみたいと思います。

**須堯教育長** 運動会は、学校の四大行事として位置づけて

います。子どもを切磋琢磨させることは大事ですが、あくまで運動会は体育の授業の一環であるため、校区を越えて開催する事は難しいと考えます。以前の町民体育祭のような行事に、各小学校で参加することは可能であると思

います。地域の方々にも参加していただき、子どもを勇気づけ、励ますことで今の運動会を盛り上げて頂くことを願っています。



### ○権現堂ため池周辺の環境問題は ○武道等の必修化は



宮野 一男 議員

るだけの余裕があるのか。次に、養鶏場の悪臭問題です。この問題は、特に御徳3区への影響は厳しいものがあります。

問題解決のため、保健福祉環境事務所・農林事務所・町などで協議会がつけられていますが、住民参加はできないのか。

文部科学省は、中学校の体育の授業に武道とダンスを取り入れることにしています。

武道は、柔道・相撲・剣道のいずれかを教えることになっていて、年間10時間程度の授業時間としています。

実施を前に、  
○選択科目は学校が決めるので生徒に選択の自由がない  
○指導教員は武道の専門家であるのか心配

○用具の調達や、衛生管理の問題や不安がある。

教育委員会として、どう取り組むのか。少ない時間の中で何を指導するのか。また、ダンスでは何を教えるのか。

**松尾町長** 産業廃棄物は県の所管なので、権現堂周辺の産廃施設である富士開発と保健福祉環境事務所が協議した報

告書によると、管理型処分場という事で、平成26年3月頃までに満杯になる見込みであるとのこと。

養鶏場の悪臭対策は、小竹町畜産経営環境保全推進協議会と地元の方とで一緒に考えて解決の方法を検討したいと思います。

**須堯教育長** 中学校では、強くなるためではなく、「武道の精神を養うため」に男女共に剣道を選択しています。

武道とダンスの学習時間は年間14時間となっています。指導体制については、剣道は外部講師として有段者をお願いしています。ダンスは、教諭が指導し、創作ダンスやフォークダンスを予定しています。

武道の用具については、町で準備します。





### ○胃がん撲滅のため、ピロリ菌検査の実施を

大安 美佐代 議員

日本におけるがんの死亡の一位は肺がんで次に胃がんとなっている。

1982年に胃粘膜から「ヘリコバクター・ピロリ菌」が発見され、この菌が長い間胃の中にとると、胃の粘膜が萎縮されて胃潰瘍や胃がんを発生させることが明らかになった。

胃がんを患う年代は、50歳以上が97%という統計がある。

小竹町で実施されているがん検診は何歳以上が対象で、何人の方が検診を受けられているのか。

バリウムが胃カメラによる方法ですが、これは少し抵抗があるので、検診率が低くなるのでは。

ピロリ菌の検査を行えば、若いうちに菌の有無がわかり、その後の対応次第では、

以後の胃検診は必要がなくなり、ピロリ菌がいれば除菌によって胃潰瘍やガンを予防することができ、検診費や医療費の節約にもなるのでは。

成人式のお祝いに是非、町の助成でこの検診を行ってはどうか。検診は、検便や血液検査でもできる。

中高年の検査には、ピロリ菌に血清ペプシノーゲン検査を取り入れて、胃の萎縮の進み具合を調べ、その結果次第で、治療を行ってあげれば、大切な命を守ることができるとは。

除菌費用も3万円以上かかるので、この費用の助成についても考えていくべきではないのか。

**松尾町長** 本町の胃がん検診の受診状況は、平成22年度は302名、平成23年度は、377名という事で受診率は増加傾向です。

本町では18歳以上からがん検診が実施されています。

国のヘリコバクター・ピロリ菌の検査のあり方についての検討結果を見ながら、その方針の決定に従っていききたいと思えます。

この除菌に対する費用負担につきましても全国自治体では、残念ながらまだ助成の方向になっていないので、国の検討結果を見ながら今後対応していきたいと思えます。

厚生労働省は、ピロリ菌感染とがんの発症は十分な関連があるとの研究機関の見解は承知しているがまだ認証していないとのこと。研究を重ねて検討の報告を待っている段階です。町としては確定的な医療の実証を経て今後進めていきたいと思えます。



- 子どもの医療費を小学校卒業まで無料化に
- 介護保険を自治体単独で
- 地域協働施策は

広瀬 早美 議員



援策として、子どもの医療費を小学校卒業まで拡充すべき時ではないか。

介護保険広域連合に加入しているため、本町が独自で運営するよりも月額1000円以上も割高な保険料を今後も払い続けるのか。

「地域密着型の介護サービスの推進」「中学校区単位で介護サービスなどの事業を展開する」国の方針ともかけ離れ、事業運営はますます困難になる。

今こそ、町に「本町単独で運営した場合の、保険料等の試算などができる組織」を設置できないか。

平成21年、「社会秩序の維持・人間の絆の回復」、地域コミュニティの再生を指した「地域協働」のまちづくり事業が発足した。

「地域でできることは自分達で」というのが基本だが、地域協働を進めるなかで、地域の環境美化活動や、見守り活動に生じる諸問題に対する町としての対応はないのか。また、消防第二分団の格納庫を地域防災の拠点に活用できないか。

若者の定住促進は本町の高齢化率の抑制に効果的。工業団地への誘致、定住促進住宅の取り組みなど積極的に進め、子育て世代を応援する「子どもの医療費助成制度」が遅れている。

いま子育て世代は、子ども手当の減額、年少扶養控除廃止等による増税、社会保険料の引き上げによって、勤労者世帯の可処分所得は大幅に減少している。子育て世代の支

松尾町長 子どもの医療費無

料化は、飯塚市・嘉麻市・桂川町は通院・入院共に小学校3年までとなっています。

直鞍の2市2町は実施しておりませんが、直方市が平成25年度に小学校3年まで拡大するとの情報があるので、直方・鞍手医師会の区域で、決めた方がよいのではないかと思っています。

介護保険制度の町単独での運営は、町の人口で考えれば非効率です。

平成24年に介護保険広域連合のあり方検討委員会が設立されています。その結果を踏まえて検討していきます。

地域協働政策の事業として実施している環境美化活動の中で危険が伴うものは、行政の協力が不可欠だと思います。独居老人の見守り活動において、町営住宅のチャイムのご故障や音が小さいものについては、町の改善をお願いします。消防格納庫を防災活動の拠点にすることについては、自治防災組織の設立、促進に伴い、活動拠点や資材倉庫等に使用する計画です。

### 自治功労者表彰を受賞

野田剛敏 議長



野田議長は、平成15年5月から鞍手郡町村議会議長会会長職を永年された功績に対して、福岡県町村議会議長会から自治功労者表彰を受賞されました。

### 編集後記

この議会だよりが皆様のお手元に届く5月、希望に胸を膨らませて出発した新しい年度も、気持ちの上で少しゆとりが出てきた頃ですね。

さあ、一年で最もさわやかなすがすがしい、そして生命が躍動する季節の始まりです。木々も新芽に装われ、新しく生まれ変わっています。

私たちも、身体中のどこかで細胞の死滅と再生が繰り返され、今日の自分は昨日の自

分とは少し変化した人間になっています。

今日は昨日よりも一歩前進明日に向かって、また、一歩前進、明るい未来を信じて「ざつと良くなる」「ざつと良くしていく」と、自身の全生命力をあふれさせ、元氣いっぱい隣人との絆を結びながら、明るい希望あふれる小竹町をつくりたいものです。

(編集委員会委員長)

大安美佐代



### 陳情・意見書

- ◎ 郵政改革法案の早期成立を求める  
意見書採択の陳情 …………… 不採択
- ◎ 父子家庭支援策の拡充を求める意見書 …………… 可決
- ◎ こころの健康を守り推進する基本法の  
制定を求める意見書 …………… 可決

次回の定例会は、

**6月7日(木)** 開会予定です。

※事情により変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

### 議会を傍聴してみませんか

傍聴場所は、役場3階議事堂内傍聴席です。

また、テレビ放映による傍聴は役場1階ロビー、総合福祉センターロビーで放映します。